

こもる 市議会だより

12月定例会

No. **182**
令和2.2.5



ナイスショットでまだまだ元気！南ヶ原・藤塚区介護予防教室のみなさん（室内シャッフルゴルフ）

寒中お見舞い
申し上げます。

主な内容

- 12月定例会概要・委員会報告 2～6ページ
- 一般質問（個人質問15名） 7～14ページ
- 次回定例会のお知らせ 14ページ
- 一部事務組合議会の紹介 15ページ
- ぼいす「南ヶ原・藤塚区介護予防教室」
傍聴席・編集後記 16ページ

補正予算 5 件を可決

条例案など10件についても可決

定例会の概要

期間：11月25日～12月20日（26日間）

議案：一般会計補正予算ほか20議案・うち

議員提出議案2件

結果…すべて同意・承認・可決

人事

今定例会では、次の方を監査委員に選任同意しました。

小諸市監査委員

丸山 隆一氏（耳取区）

（任期は令和2年2月15日から4年間）

1億4千100万円

※本来、議会の議決が必要事項について、特に急を要する等で議会在急がない時、市長は議決を経ず、その事項を専決することができず。

（地方自治法179・1）

専決処分（※）の承認

台風19号関係の災害復旧費のうち、緊急を要するため、市長が議会の議決を待たず、先行で執行した2億1千700万円を承認しました。

- ・ 農林課関係
7千600万円
- ・ 建設課関係

主な議案

一般会計補正予算

「台風19号災害復旧費予算」を可決

令和元年10月12日の台風19号の被災による災害復旧費は本定例会で審査し、可決しました。

※詳細は左ページをご覧ください。

12月定例会に上程された議案と審議結果

議案番号	議案件名	結果
第116号	小諸市監査委員選任の同意について	同意
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて	承認
専決第4号	令和元年度小諸市一般会計補正予算（第4号）	可決
第117号	小諸市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例	可決
第118号	小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
第119号	小諸市公共物管理条例及び小諸市準用河川占用料徴収条例の一部を改正する条例	可決
第120号	小諸市営住宅条例の一部を改正する条例	可決
第121号	小諸市寝たきり予防センターの指定管理者の指定について	可決
第122号	小諸市老人憩いの家の指定管理者の指定について	可決
第123号	小諸市農産物加工施設の指定管理者の指定について	可決
第124号	市道路線の認定について	可決
第125号	市道路線の廃止について	可決
第126号	送配水管更新業務（丸山配水池～坂の上配水池）変更請負契約について	可決
第127号	令和元年度小諸市一般会計補正予算（第5号）	可決
第128号	令和元年度小諸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
第129号	令和元年度小諸市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
第130号	令和元年度小諸市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
第131号	令和元年度小諸市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
発議第7号	小諸市議会会議規則の一部を改正する規則	可決

令和元年度 一般会計・特別会計

台風19号 災害復旧費を含む、

新しい委員会

議員定数及び報酬等検討委員会が発足しました。

※詳細は、6ページをご覧ください。

予算決算委員会報告

令和元年度の一般会計・特別会計の補正予算について、当委員会は、3日間会議を開催し、説明員の出席を求め、関係書類に基づき、付託された議案の審査を行いました。

全ての所管に対する質疑、意見が終了した後、議案に対する討議、討論し、採決を実施した結果、すべての件について可決しました。
その主な審議内容を報告します。

※写真は、12月補正予算と無関係なものも含まれます。

令和元年度一般会計補正予算を可決

台風19号関係の災害復旧費5億8千800万円を含む増額補正と減額補正で、合計4億8千500万円の増額を可決しました。

なお災害復旧費は、令和2年度へ繰り越し執行します。

- ・農林課関係
2億4千万円
- ・建設課関係
3億4千800万円

- ◎ 質疑
- 答弁
- 意見をあらわします

千曲川の越水により洗掘された布引トンネル付近の県道



倒木等により通行止めとなった市道チエリーパークライン



◎災害復旧には、庁内できれいに優先的にやるといような調整はあるのか。

○佐久建設事務所管内で業者も含めた連絡調整会議が開催されるため、庁内で調整した後に参加する予定である。

●復旧時期が分かり次第、各区へも連絡して欲しい。

◎農業関係の地元分担当は、まだ変動する可能性があるのか。

○国の災害査定が12月13日まで行われる予定で、その後補助災害事業の範囲が決定し事業費等が確定する。現在、地権者に復旧工事の申請及び受益者負担の承諾書の記入・提出をお願いしている。農地についての受益者負担金は、事業費の5%、上限10万円で積算しているが、更に変動となる可能性もある。

●災害対応が初めてで不安な農家もいることから、丁寧な説明をお願いしたい。

◎7月の豪雨災害の関係の工事が進んでないようだがどうか。

○現在、復旧工事にあたる事業者が不足している状況である。これについても佐久建設事務所での会議で調整される。

そこでの調整を踏まえ、早期に復旧出来るよう取り組んでいきたい。

雨水により崩壊した大里地区の水田の土手



●農作業が始まる時期までに工事が完了しない場合は早めに地権者へ周知して欲しい。

◎65才以上の高齢者宅向けの特殊詐欺防止用の通話録音装置購入費用76万円の内容及、これまでの貸出し実績はどうか。



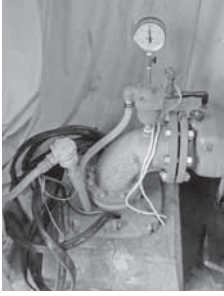
通話録音装置

○平成27～28年に90台購入し、無償貸出し済みが66台、在庫が9台である。現在も市民の借用希望は複数聞いている。今年度、県補助金の交付が受けられる見通しが立ったことから、75台程度の購入を予定している。

令和元年度小諸市水道事業会計補正予算

軽井沢町に3箇所ある水源井戸の内、追分2号井戸の水中ポンプ1基が故障し、中央配水池への供給水が不足となった。代替え水中ポンプを設置するまでの期間、浅麓水道企業団からの緊急購入水により対応した。

乗瀬配水池は、浅麓水道企業団からの購入水により各戸に配水を行っているが、中央配水池への緊急対応で今後の水購入費用が不足し、240万円の増額が必要となった。追分2号水中ポンプの故障原因は、現在も水中ポンプ製造元にて調査中との説明がありました。



故障した2号井戸ポンプ

条例の一部改正等10件を可決

条例の設置及び一部改正等について、各常任委員会で審査を行い、すべて可決しました。主な議案やそれに対する質疑と答弁を報告します。

総務文教委員会

◆小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◎投票管理者等の選挙当日の途中交代が可能になったという事だが、1日13時間従事すべきところを、途中で他の管理者に交代が可能という事か。

○昨今の選挙の、投票管理者等のなり手が不足している実情も踏まえ、本来投票管理者等は1日従事が原則だが、

事情がある場合には事前に告示をした上で交代が認められている。報酬は従事した時間に応じての支払いとなるため、時間割で算定ができるように改正した。

市民福祉委員会

◆小諸市老人憩の家の指定管理者の指定について

「小諸市荒堀老人憩の家」・「小諸市一ツ谷老人憩の家」の指定管理者をそれぞれ「荒堀区」・「一ツ谷区」と定める件。

◎条例では、老人に対し教養の向上及びレクリエーション等の場を与え、もって老人の心身の健康の増進を図るとしているが、どのような事業を行っているのか。

○本施設は介護予防教室を始め高齢者の交流の場として、また公民館

や集会所としてもご利用いただいている。

産業建設委員会

◆小諸市農産物加工施設の指定管理者の指定について

「小諸市農産物加工施設（御影区）」について指定管理者を「味工房小諸すみれ」と定める件。

◎条例では指定期間は5年以内となっているが3年としたのは何か考へがあるのか。

○1年目に見直し等を行い、2年目に企画をして、3年目に成果を出していくというサイクルが定着し始めてきているため、商品開発や会員の対策を考えると3年間のサイクルが望ましいのではないかと考えている。

◆送配水管更新業務（丸山配水池～坂の上配水池）変更請負契約について

当初契約額4億2千400万円余を、消費増税に伴い780万円余の増額変更契約をするもの。

◎契約を締結した6月21日時点では消費税率は8%と思われるが、なぜ10%となるのか。

○平成31年4月1日以降の契約で、令和元年10月1日以降に引き渡し予定の工事については10%を適用するという内容の記載が契約書別紙「附則」にあるため。

請願・陳情

本定例会に提出された請願・陳情について、審査しました。

事業用太陽光発電設備設置計画について厳正なる対処を求める請願

本請願については市民福祉委員会にて審査、本会議で採決の結果、全会一致で採択と決しました。

【請願の概要】

諏訪山区で計画されている太陽光発電の内規模の大きい2か所については急傾斜で住民の生命と財産を脅かす危険があるため、区の総意として事業の中止を求めることとした。

住民の総意に寄り添った厳正なる対処を市に求めて頂くよう要望する。

【委員会での主な質疑】

◎請願書には下流域に土砂災害区域があると書

かれているが、雨水処理方法等について、事業者から説明はあったのか。

○（請願者） 浸透試験の

専門業者が来て試験を行い立ち会ったが、それほど浸透していないのを見て取れた。

検査結果の資料の提供をお願いしたが、いまだに提出されていない。

◎事業者との話し合いを

進めた結論としてはどう考えているのか。

○（請願者） 本来ならば

中止を求めたいのが結論だが、国や小諸市の事情もあると思う。様々な条件が満たされ、安全で安心して生活できることが担保されれば、協定書の協議に入る。

【討論の概要】

現地を調査し、請願者の陳述を聞くと、計画の場所は雨水排水等の面

ら考えても、非常に危険な場所である。

現在は決定前の調整段階であり、地元住民と事業者の間に立ち、双方が

納得できるように調整するのが行政の役割である。

双方の意見を組み入れ厳正な対処をしていただくよう、本請願は採択すべきである。

【採決】

請願は委員会・本会議でも全会一致で採択となり、市に対し議会閉会后、市に申し渡すこととした。



申入書を提出

総務文教委員会と産業建設委員会の連合で審査し、採決は総務文教委員により行われ趣旨採択と決しました。

記念碑等があるのか、また設置が可能なのか。設置目的に沿ったものは設置可能だが、どんな文言が刻まれるのか、それが設置するのにもよるのでここでは判断できない。

【陳情の概要】

世界連邦平和都市宣言は「全世界の人々と手を携えて人類永遠の平和の確立のため努力する平和都市であること」を宣言したもので、今から51年前に小諸市議会で決議されたものです。

【採決】

陳情書の要望事項は①相生公園に平和都市宣言の記念碑の建立

②その周辺に平和の象徴である「アンネのバラ」の植栽

③平和都市宣言に関して広報もろに掲載以上3項目を市に働きかけていただきたいという内容です。

【委員会での主な質疑】

◎相生公園に記念碑の建設とあるが他の公園に

記念碑等があるのか、また設置が可能なのか。設置目的に沿ったものは設置可能だが、どんな文言が刻まれるのか、それが設置するのにもよるのでここでは判断できない。

14の宣言を市民の分かりやすい場所に 표시して行きたい。

【討論の概要】

討論では、あいおい公園という場所を特定している等で他の宣言との公平性からみて趣旨採択が良いとの意見が大半を占めました。

【採決】

採 択…1
趣旨採択…4

小諸市の都市宣言	
世界連邦平和都市宣言	昭和42年 9月27日
国からの公園整備の交付金は、植栽によって返還することになるか。	昭和42年 9月27日
植栽や花壇、ブロック積を大きく崩して行うと交付金返還の可能性もあるが、植栽内容が具体的ににならないと判断できない。	昭和42年 9月27日
相生公園に平和都市宣言の記念碑の建立	昭和42年 9月27日
その周辺に平和の象徴である「アンネのバラ」の植栽	昭和42年 9月27日
平和都市宣言に関して広報もろに掲載	昭和42年 9月27日
以上3項目を市に働きかけていただきたいという内容です。	昭和42年 9月27日
小諸市には14の都市宣言があるが他の宣言に対して何か特殊な点はあるか。	昭和42年 9月27日
宣言それぞれの趣旨や	昭和42年 9月27日

議会終了後市役所玄関ホールに14の宣言が掲示されました

若者にとって魅力ある小諸市を創るための陳情

11月15日に小諸商業高等学校より議長宛てに提

出された陳情書は、12月10日に産業建設委員会にて審議の結果、採択と決しました。

【陳情の概要】(原文のまま)

私たち、小諸商業高等

学校3年政治経済講座は、小諸市の10年後の姿を想像し、小諸市がより賑わうために今後何が必要かを考えてきました。高校生の視点から、「特に若者がどうしたら小諸市にやってくるのか」について様々な観点から検討を重ねてきました。

検討の結果まとめた4つの点について、以下提案いたしますので、ご検討の上、商工会議所や各種団体、商店街や地権者の皆さん等への働きかけをお願いいたします。

1. 駅前及び中心市街地の商業施設等の充実
(高校生の居場所の確保)
2. インスタ映えする景

観の実現

3. 小海線・しなの鉄道の利便性の向上
4. 懐古園及び観光ポイントの活性化

【委員会での主な質疑】

◎高校生の居場所について、小諸駅の2階が空いているが現況はどうか。

◎耐震性が無いので大勢の利用はできない。しなの鉄道として直接管理は難しいが、少人数の利用であれば相談に乗ってもらえるのと。と。

◎駅前にコンビニ誘致について、市場調査の情報はどうか。

◎以前、駅舎に図書館を併設する議論があった際、コンビニ運営会社に問い合わせた経過があったが、出店できないとの回答であった。それ以降は課としては存じていない。

◎高校生にとってインスタ映えするとはどのような光景なのか。

◎若い皆さんの考えは分からない部分があるので、逆に高校生の皆さんに具体的なアイデアなどを紹介してほしい。

◎鉄道の利便性の向上について、ダイヤ改正の要望は定期的になされているのか。

◎東信管内の高校と鉄道会社は、年一回意見交換会を設けていて、こうした内容について伝え回答されている状況である。

◎観光ポイントの活性化について、高校生がこれまで懐古園のイベントに参画した事例はあるのか。また動物園の餌やりや宣伝製作など一緒に行うのは可能か。◎これまで共同して開催したイベントはないが、職業体験等での実習や

イベントスタッフとしての取り組みは可能であると思う。

【採決】

採 択：4
継続審査：1

この陳情書は、小諸商業高校3年学年で学習する「主権者教育」において自分たちにより身近で具体的な例を学び、市議会や選挙制度等への関心を高める活動に取り組んできた成果として、生徒たちがまとめたもの。陳情書の提出に先立ち、生徒たちは市議会の傍聴や陳情書作成に向けたグループワークなどを実施してきた。



審査結果通知書を手渡し

市議会としては1月14日に小諸市とともに小諸商業高校へ赴き、「審査と意見交換を行った。結果通知書」を直接生徒の皆さんに手渡し、説明

議員定数及び報酬等
検討委員会を設置

昨年7月に「市議選の無投票を市民と考える」をメインテーマとして開催した「議会とかなる会」において、議員のなり手不足という面から市民の皆さんより議員定数や報酬及び選挙に出馬する不安、女性議員が少ない等に対する多くのご意見をいただきました。これらについて議会としての考えをまとめていくため新たに「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」を設置しました。

会とかなる会」においてある程度の結果を報告する予定で進めます。さらに議員定数及び報酬以外の議会に対する市民の皆さんからの意見や要望等についても調査・検討を行います。

次期選挙の1年前(令和3年12月)には議員定数と報酬について議会として結論を示す計画です。

委員構成は次のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 清水喜久男 |
| 副委員長 | 早川 聖 |
| 委員 | 楚山 伸二 |
| | 高橋 公 |
| | 田邊 久夫 |
| | 山浦 利夫 |
| | 中村 憲次 |
| | 福島 鶴子 |



農機具の共同購入補助等の支援充実はどうか

清水喜久男

質問

日本の農業を取り巻く問題は農業従事者の高齢化と減少であり、新規農業従事者が農地を確保することは困難ではないが、農業用機械の導入には多額の費用が必要である。令和2年度における農機具の共同購入等補助の支援はあるか。

市長

農機具や施設の共同化については集落営農の推進に大きな効果が期待される。具体的には農業機械や農業施設への過剰な投資を解消しコスト削減が図られ安定的な農業経営につながる。なお、機械の共同購入には一定の自己資金が必要であるが「中山間地域等直接支払交付金」の活用が可能である。

質問

中山間地域等直接支払交付金については農地の傾斜等の課題もあり、また、多面的機能支払交付金についても地域での取り組み方が分からないと聞くので、交付説明書を市役所ロビーに置くと共に地域で交付説明会の実施はどうか。

産業振興部長

交付説明書をロビーがいいのか、農林課窓口が良いのか検討したい。地域で交付金等の説明の要望があれば各地域へ出向き説明する。

質問

稲作だけで行っている「所得補償」を果樹や野菜生産農家へ普及させて頂きたいとの要望もあるが、補償制度を推進する対応はどうか。

農業委員会会長

稲作農家への所得補償は、米価が下落した際に収入補填する制度であり、果樹には共済制度があるが十分でないので地区の懇談会での制度について説明したい。



共同購入の御影トラクター組合



台風19号災害の再検証を!!

楚山伸二

質問

今回の台風で初めて、市内全域に「避難勧告」が発令されたが、小中学校等の指定避難所すべてを開設すべきだったと思うがどうか。

危機管理課長

他市町村の状況を聞きながら、小諸市としてどうあるべきであったかを今後検証したい。

質問

相生町に建設中の複合型施設のすぐ脇には松井川があり、ハザードマップでは「浸水想定区域」となっているが、防災・避難拠点になりえるのか。

市長

防災・避難拠点として活用することは想定していない。浸水想定に対処した造りにすることは困難。ソフト面での対策が重要と考える。

質問

複合型施設の浸水被害を低減させるような手立てはあるのか。

建設水道部長

松井川について、河川の流れを良くする補強コンクリート工事を

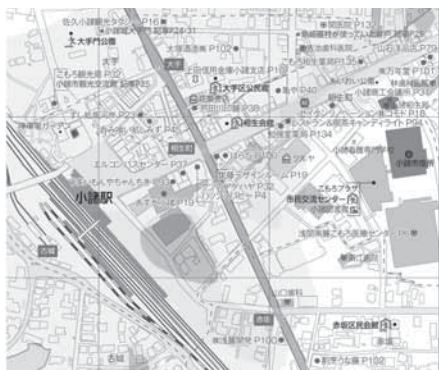
順次実施中であり、複合型施設に隣接する区間では実施済みである。

質問

台風の都度、倒木等によって長期間停電の影響を受ける。平常時の樹木管理について、地域住民を巻き込んだ点検活動や一定の規制を伴う条例の制定等も検討が必要な時代の転換期と思うがどうか。

市長

樹木の管理について、条例での規制は現実的ではないと考える。停電被害が多発している中で、平時の定期的な点検や適切な管理を市としても所有者の皆さんに働きかけていきたい。



複合型施設(建設地)周辺のハザードマップ



生産年齢世代の力を活かした地域づくり

高橋 充宏

質問

小諸市の地域づくりにおいて、生産年齢世代及び子どもたちへ期待していることは何か。

市長

生産年齢世代は「社会・経済を支える力」「地域を支える力」「子供を育てる力」の3つの力を持っていると考える。

この力を活かし生産年齢世代を含む大人たちが語り部となり、小諸の良いところを一つでも子どもたちへ伝えてもらいたい。それが子どもたちにとって若い時は反発的であったりするが、成長とともに小諸に対する郷土愛とか愛着心へと変化していくきっかけとなる。また、大人たちが自分たちの良いところを言うことによって、自分たちも小諸の良さを再認識でき、相乗効果につながると思う。

質問

生産年齢世代及び子どもたちへ市が支援していることは何か。

市長

子育て教育において「小諸を誇



雪合戦で地域力を高める「市村キャノン砲」

りに思う教育」など、幾つかの施策を行っている。働きの場として企業の流出防止や企業誘致など雇用を生む機会を作っている。また、この小諸で夢をかなえることにおいて「みんなの夢アワード」など、自ら起業して日本または世界を股にかけて事業を起こす人の支援をする事業を行っている。

いずれにしても、子どもたちが自然環境や歴史文化に恵まれた、この地域に生まれたことを幸せだと人生のどこかで感じ、やはり「この地域で生活したい」と思えるような小諸市にしたい。



気象観測体制の強化はどうか

小林 一彦

質問

気象警報、注意報等の発令や災害復旧申請の根拠となる基礎データを取得するためには密度の高い気象観測体制が必要である。小諸市には気象観測所は何か所あり、それぞれ所管はどこか。

市長

本市には、気象庁が所管する気象観測所はなく、長野県が所管する気象観測所として、市内の石峠、高峰の車坂に雨量計が設置されている。このほか、小諸消防署に簡易雨量計が設置されている。

質問

建設中の新しい消防署に設置する気象観測施設は、気象業務法に適合した施設として、市民が観測の成果を利用できるような体制にすべきだと思っておりますか。

市長

他の消防署とか自治体でどのように活用しているか、気象業務法に適合するような形でやっているのかどうか、研究・検討していきたい。

質問

局地的な豪雨、突風等による災害に対応するため、市独自の気象観測システムの導入はどうか。

市長

近年多発している局地的な集中豪雨や線状降水帯に対応するために、気象を把握したいエリアに小型気象計を設置し、雨量、風速、風向、気温、気圧などの気象データをリアルタイムで計測し、測定地点の気象情報をウェブ上で表示できるシステムがある。このような気象観測、情報提供サービスについて研究をしたい。



小諸市及び周辺の気象観測施設

個人質問



88才の高齢祝いに防災ラジオをプレゼント!!

高橋 公

質問

この10月に小諸市の88才人口は、0才児人口を上回る287人となった。スマホやインターネットを使わない高齢者の防災情報には防災行政無線が最も有効だが、今回の台風19号の時は雨と風で聞こえなかった。防災ラジオなら台風の時に室内にいても確実に聞こえる。

令和4年より現在のアナログ式防災行政無線がデジタル式に代わるが、ぜひそれを機会に88才の高齢祝いの時に、祝い金の代わりにしてデジタル式防災ラジオをプレゼントしてはどうか。

そうすれば10年で約3千世帯に防災ラジオが行きわたる。

保健福祉部長

まだどのようなタイプのものに切り替えて行くか決まっていないが、今後危機管理課とも相談し考えていきたい。

総務部長

高齢者の方々の防災・安全はとても大事な観点だ。高齢者のためにもいい提案だと思う。

質問

小泉市長が取り組んだPR動画は、アツイー・シリーズ3部作と水木一郎シリーズ4部作があるが、来年以降の市長のPR動画作成の考え方はどうか。

市長

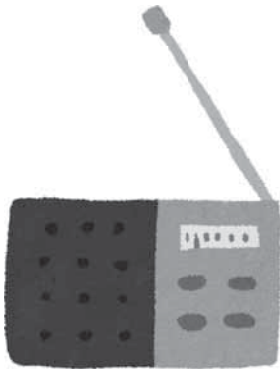
新たな手法や対象を検討しつつ、市民の皆さんのご意見を頂きながら、定期的に作り続けたい。

質問

スポーツ自転車愛好家を対象としたPR動画作成を提案する。

市長

小諸に行きたいと考えているすべての人に有効だと思う。



小諸市消防団員アンケート結果内容は

丸山正昭

質問

消防団員アンケートについて、どこに重点を置き、その結果をどのようにとらえているか。

市長

喫緊の課題に対して幅広く全消防団員の率直な意見を聞き、現状を把握した上で、その解決に向けた取り組みを進めるべくアンケートを実施した。

結果からは、消防団員の高齢化の進展や消防団員においての充実感や負担と感ずる部分、新入団員の確保や将来の団員確保の見通しについて苦慮していること、装備や資機材が不足していること、などが明らかになり現在の消防団の状況を把握する上で非常に意味のあるアンケート調査であったと感じている。

アンケートについては分析を進め、消防団活動全般を改善するための検討資料として活用していきたい。

質問

小諸市消防団条例による団員定

数は850名だが、現実を見て減らす時期と考えるがどうか。

市長

アンケートを分析し、各地域における人口等の見通しや災害発生のおそれ等を踏まえ、保有する現有消防力を低下させることのないよう、住民・消防団・自主防災組織など、防災活動に携わる多様な皆様とともにしっかりと議論を行いたい。

まずは活動のない団員の実態把握とその対策など、できることから始めて、その後各部の消防団員定数の見直しや統合について検討していきたい。



工事が進む 新小諸消防署庁舎



防災重点ため池の災害対策を早急に

土屋利江

質問 台風19号における、ため池の被害状況と今後の取り組みはどうか。

市長

ため池の決壊が1件、堤体の崩落が7件、計8件の被害が発生した。今後は住民説明会を開催し、決壊した時の浸水区域や住民への周知方法、緊急連絡体制の整備等を進め、住民の防災意識の向上を図る。

質問

ため池災害予防計画の中に「ため池カルテ」を整備し、施設の状態を適時確認するとある。県の「ため池マップ」と同じことか。

産業振興部長

ため池カルテとあるが、現在、市内24か所のため池の管理者や貯水量等の届け出を依頼している。それを基に作る台帳と同じである。

質問

今後の、ため池ハザードマップの取り組みはどうか。

産業振興部長

防災重点ため池に指定された16



防災重点ため池（西小諸）

か所については、今年度と来年度でハザードマップの作成に取りかかる。本年度、1か所取りかかる予定であるが、災害の対応状況を踏まえながら取りかかる。

質問

1か所とは「新池」のことか。

産業振興部長

地元区と相談し、市としては、新池を最初に作成していきたい。

質問

住民説明を行なっていくとあるが、どのように検討されているか。

産業振興部長

説明というより、一緒に考えながら作成していきたい。



生命と財産を守る防災減災の早急な対応を！

中村憲次

質問 災害復旧対策の進捗状況はどうか。

市長

建設関係及び農林関係ともに12月9日より国の補助災害査定により復旧範囲と実施設計、施工業者が決定次第対応をしたい。

質問

重点ため池対策で「廃池」も考えられるが、国からの支援を利用しての対応はどうか。

産業振興部長

所有者と協議をして廃池する場合は、堤の高さ5m未満は1千万円、5m以上が3千万円を上限とし、国からの補助が拡充されている。時限立法の為に3年以内に「ため池台帳」の作成後に検討して行きたい。

質問

下水浄化管理センターが浸水の危険な状況であったが千曲川に隣接する立地条件下の対策はどうか。

建設水道部長

県下でも有数な停電に強い施設



小諸浄化センターへの水管橋

で有り、浸水予防の為に災害で流出土砂の利用、盛土をして川の増水浸水対策を講じて行きたい。

質問

水管橋が極めて危険な状態であったが想定範囲内であったか、今後の様に対応するか。

建設水道部長

建設当時の浸水想定計画より1mほど範囲を越えており、護岸の地形的な影響もあって決壊が回避できたと判断する。今後の対応は、①上流の大久保橋隣からホースを接続し浄化センターへの送水、②専門的に対応できる組織との災害協定の締結、を考えている。

個人質問



財政目標未達成の対応はどうするのか

田中寿光

質問

新年度の予算編成にあたり、事業費フレーム（予算枠）の設定について例外はないのか。

市長

例年事業費フレームを設定し、歳入に見合った予算となるように全体の目標額を設定している。

フレームの考え方として、人件費を含め例外を設けないとした。

質問

財源確保の中で新規事業の特定財源は考慮しないのか。

市長

財源改善策では、新規事業を予算計上する際は、まずは補助金、負担金等の特定財源を確保した上で、なおも財源が不足する場合は、相当額の他の事業費を見直す等により算出できた場合に限り認めることとした。

質問

市単独補助費、扶助費の見直し基準の作成状況はどうか。

市長

先進自治体を参考にしながら、

目標達成は？

令和2年度中のできるだけ早い時期に見直し基準を作成し、令和3年度の当初予算から反映したいと考えている。

質問

職員数の抑制に向けて、定員管理計画策定をどう進めるのか。

市長

各地方公共団体は、厳しい財政状況下においても行政サービスを効率的・効果的に提供するため、民間委託の活用等の行政改革の推進を図りながら、適正な定員管理に取り組む必要がある。



簡単に防災情報が聞けるコミュニティFMを

早川 聖

質問

台風災害で防災放送が雨音で聞こえない市民の声が沢山あった。

被災地では停電によりテレビは使えず、電池式携帯ラジオだけが頼りと言われている。特に、災害時に役立つのは、コミュニティFMで、避難場所案内や食料等の供給状況など、きめ細かな防災情報に信頼を寄せる人が増えている。

既に軽井沢町、佐久市、東御市で放送が開局している。小諸市は、防災無線のデジタル化で現在のアナログ放送は、3年後に廃止され、家庭の防災ラジオは使えなくなる。新たに5千円〜5万円と言われる個別受信機を買うことになり、新たな経済的負担となる。

コミュニティFMを聞くには、今の防災ラジオでもよく、新たに受信機を買わずに車やスマホで聞けて便利と考えるがどうか。

企画課長

伝達ツールとして非常に有効だ。災害時の特に停電の時も使える。パソコンやスマホを使わない方

も、ラジオは持っている方もたくさんいることから、その有効性は認識しており、コミュニティFMの活用について、今、検討を始めている。

質問

市も出資する地元ケーブルテレビと連携して、コミュニティFM局を立ち上げるべきではないか。

まずは、研究するところから進めてほしいと思うがどうか。

市長

軽井沢、佐久平、東御のコミュニティFMがどの程度カバーができるのか、市単独で持つ必要があるかどうか検討していきたい。



防災放送がよく聞こえない時は
0120-910-285で確認できます

個人質問



障がい者（児）福祉のレベルを問う

福島 鶴子

質問

障がいのある方もない方も、同じレベルでの暮らしが出来る「共生社会」実現に向けての見解を。

市長

障がい者も健常者も社会の大切な構成員である。障がい者が希望する形での対応が大事と考える。

質問

「第5期障害者福祉計画・第1期障害児福祉計画」におけるサービス目標の達成度はどうか。

市長

達成年度を令和2年度末とする計画だが、中間年度である平成30年度末の達成状況は、一部に未利用があるものの、ほぼ計画値通りの達成となっている。

質問

障がい者福祉サービスは、制度として国で定められている全国基準である。小諸市独自の福祉レベル向上に向け、制度以外に、地域資源を活用したサービスはあるか。

市長

重度障がい者（児）に対するタ



利用料軽減が期待される「あぐりの湯」

クシーの利用助成、愛のりすみれ号等の利用運賃や公共施設の入園料の負担軽減を行っている。

質問

「あぐりの湯」に利用料減免がないのは何故か。

市長

「あぐりの湯」に障がい者減免措置がない事については、状況を調べ利用料の見直しを検討したい。

質問

その実現に向けて、今後庁内ではどう動くのか。

総務部長

減免内容や対象等について、総務部が中心となって展開する。



防災訓練を地域の特性に合わせて行おう

掛川 剛

質問

台風19号では市内全域に避難勧告が出され96人が避難したが非常に少ない。これをどう考えるか。

危機管理課長

市民の意識と避難行動という視点からもしっかり検証していきたい。

質問

市のハザードマップに加え、各区の危険箇所を区民で調べ、区ごとの詳細なハザードマップをつくることを推奨したらどうか。

市長

地域や家庭でそこまで掘り下げておかないと実際には対応できない。そういう取り組みを積極的に推奨していくとともに、行政でできること、住民でできることをそれぞれがともに取り組んでいかなくはないかなと考える。

質問

各区で調べた危険箇所や支援を要する方の情報を災害時住民支え合いマップに反映させ防災訓練・避難訓練を一体化させて運用する



[不適]がある緊急避難場所・避難所

必要性があるかどうか。

危機管理課長

台風19号で全市に避難勧告を発令したことから議員と同じ考えだ。要支援者の情報共有は一番の課題で、先進事例を情報提供していきたい。

質問

川辺地区では半数の区が土砂災害等では避難所が不適とされている。早めに安全な場所へ避難の必要があるがどう考えるか。

市長

空振りでもいいから、例えば川辺地区には早目に避難勧告を出すなどの対応をしていきたい。



小諸市におけるSDGsの推進について
エスディージャーズ
柏木今朝男

質問

来年度からの第11次基本計画策定にあたり、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を念頭に世界共通の物差しを導入しての施策の展開が重要と考えるが、SDGsの視点を反映させる考えはあるか。

市長

SDGsの理念は、自治体が持続可能な社会を実現するための地域づくりの理念に通じるものがあり、SDGsの要素を反映させることを前提に、現在勉強会や研修会等に参加し、研究を進めている。

質問

近年、地球温暖化の影響で海面水温が上昇し勢力の強い台風や集中豪雨など災害が頻発化、激甚化し深刻さを増す状況の中で、3年後改定予定の第3次小諸市環境基本計画の策定を、今回の第11次基本計画の策定と合わせて前倒しさせ、SDGsを反映させた基本計画と整合性をとるべきではないか。

市民生活部長

P D C A サイクル上難しいと考



質問

SDGs全ての目標達成の鍵は教育が基礎であり、その推進では児童生徒も含め「オール小諸」の取り組みによって2〜3年後にはSDGs未来都市に応募できるよう希望するが、思いを聞きたい。

市長

改めてSDGsという新たな概念、物差しで政策施策を捉え直すということも大変重要なことであり、それに向かって、SDGsの概念を共有することで、小諸市が持続可能なまちであり続けるための目標が達成できると思っている。

3月定例会日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
2/24	25 本会議 (提案説明等)	26	27	28	29	3/1
2	3 本会議（一般質問）	4 予算決算委員会	5	6 総務文教委員会・分科会	7	8
9	10 市民福祉委員会・分科会	11	12 産業建設委員会・分科会	13	14	15
16	17	18	19 予算決算委員会	20	21	22
23	24 本会議 (委員長報告等)	25	26	27	28	29

3月定例会のご案内
傍聴をお待ちしております

掲載記事の訂正とお詫び

議会だより181号の掲載記事に誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

6ページ2段目【小諸公園事業特別会計】中の修繕料の金額
(誤) 2千300万円
(正) 230万円

* 予定のため日程が変更になる場合があります。
開議時間は概ね9時です。
詳しくは、議会事務局22-1700(代)へお問い合わせください。

佐久広域連合議会

佐久広域連合は、小諸市、佐久市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、佐久穂町、軽井沢町、御代田町及び立科町の2市5町4村で組織されています。

事業等は、佐久平斎場、食肉流通センター、視聴覚ライブラリー、成年後見支援センター、障害者相談支援センター、特別養護老人ホーム（豊昇園・塩名田苑）、救護施設清和寮、介護認定審査会、障害支援区分認定審査会、広域消防（消防本部・小諸消防署・佐久消防署・軽井沢消防署・北部消防署・川西消防署・南部消防署・南部消防署川上分遣所・御代田消防署）があります。

佐久広域連合議会議員の定数は22人で、小諸市3人、佐久市6人、小海町1人、川上村1人、南牧村1人、南相木村1人、北相木村1人、佐久穂町2人、軽井沢町2人、御代田町2人、立科町2人がそれぞれ選任されています。

定例議会は、年4回開かれ、総務委員会、経済建設保健衛生委員会、社会文教委員会において、それぞれ所管議案の審査の後、議決します。

小諸市、佐久市、北佐久郡、南佐久郡の11市町村が協力連携しあい、広域で佐久地域の発展を目指しています。

佐久広域連合議会議員の定数は22人で、小諸市3人、佐久市6人、小海町1人、川上村1人、南



塩名田苑でのクリスマス会

浅麓水道企業団議会

浅麓水道企業団は、農業用水路「千ヶ滝湯川用水」の水利権を持つ浅間山麓の佐久市・小諸市・御代田町・軽井沢町の2市2町が共同で、余剰水による水道用水の不足の解消と千メートルラインの高原地帯の開発を目的に、昭和42年4月に県内では初めての水道用水供給事業として発足しました。

水道行政においては、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化深刻化する人材不足等の直面する課題に対応し水道の基盤強化を図るため平成30年12月に「改正水道法」の成立に伴い水道事業の基盤強化と持続を図る転換点となりました。

浅麓水道企業団議会議員の定数は15名で小諸市から4名を選出し、佐久市5名、御代田町3名、軽井沢町3名をそれぞれ選出しています。

議会定例会は年2回で、総務委員会、施設委員会の2常任委員会で審議が行われると共に、浅麓水道企業団水道事業、ビジョン及び経営戦略を策定し、おおむね3年ごとに事業の進捗状況を点検評価し、必要があれば計画の見直しを行い、人口減少社会においても持続可能で安全な水を供給するよう努めています。

浅麓水道企業団議会議員の定数は15名で小諸市から4名を選出し、佐久市5名、御代田町3名、



浅麓水道企業団 追分調整池

浅麓環境施設組合議会

浅麓環境施設組合は、小諸市、軽井沢町、御代田町、佐久市（浅科地区）の2市2町で組織されています。

昭和37年4月に、し尿処理施設である「浅麓衛生センター」が稼働しました。その後、5か年をかけて、スクラップアンドビルドにより南城公園近くに建設されました。

平成18年10月から、生ごみ・下水道汚泥処理を含めた「浅麓汚泥再生処理センター」として、現在に至っています。

センターでは、生ごみなどを汚泥発酵肥料に再生し、「浅麓エココンポ」として肥料登録をして、無料で提供しています。

また、生ごみなどを処理する時に出る「メタンガス」を利用し、発電も行っています。

浅麓環境施設組合議会議員の定数は12人です。小諸市5人、佐久市2人、軽井沢町3人、御代田町2人で、各議会から選出されています。

定例議会の前に、議会運営委員会（各議会から各1人の計4人）を開催しています。

定例議会は、2月が予算議会、8月は決算議会を開いています。

議会として、今後も適正な運営がされるようにチェックをしていきます。

浅麓環境施設組合は、小諸市、軽井沢町、御代田町、佐久市（浅科地区）の2市2町で組織されています。

せらく
【浅麓エココンポ】ご利用ください！
《汚泥発酵肥料》

浅麓汚泥再生処理センターでは、「生ごみ」などを汚泥発酵肥料に再生し、「浅麓エココンポ」として年間を通じて配布しています。
農業・家庭菜園・樹木・ガーデニング等にご利用ください。

粒詰の袋詰め（12kg）と粉末状のパラトトラックの荷台へ直接の2種類があります。

* 袋詰めは、袋代として1袋当たり30円を頂いています。



ぼいす

第11回

キラキラ★小諸人 南ケ原・藤塚区 介護予防教室の皆さん

今回は、元気な高齢者が多く、特に男性の参加率が高い南ケ原区・藤塚区合同の介護予防教室を訪ねました。世話人である滝沢さんと児玉さんにお聞きしました。

Q1 いつ頃からの活動室でしょうか。

前身は、平成13年までの介護予防サテライト教室です。今では毎回65才以上で30名ほどの参加ですが、男性の参加者が半分というのが特徴です。

Q2 毎回、どのような内容の介護予防教室でしょうか。

今回、午前中は皆様よくご存知の社協さんの健康達人区らぶのメニューで、手作りの昼食後にはカラオケ教室を2時間ほど楽しんでいきます。

さらに、「諏訪ひろみカラオケ教室」と合同で開催して、アドバイスをいただき、皆で楽しく歌っており時間が足りないくらいです。

Q3 20数年活動している事や良かったことは何ですか。

活動の中で、元気な顔を見たり、ささやかな会話が何よりも良かったと思っています。

Q4 活動にあたり、困っている事や課題はありますか。

やはりここ数年来、参加者の減少と固定化があります。その対策に悩んでいます。世話役である私もそろそろ交代しようと思っています。区の役員さんや民生委員さんの協力も不可欠と思っています。



介護予防教室の昼食風景

Q5 これからの介護予防教室はどのようなにしていきますか。

地域のコミュニケーションのツールとして「継続は力なり」をモットーに内容を充実して活動していきたいと思っています。地域住民が顔を見せ、楽しく会話ができればいいですね。

編集後記

傍聴席



芝生田区
高橋謙司 さん

台風19号による災害が多く発生しましたが、台風の被害や対応が議論されるであろう12月定例会議会を傍聴しました。それは、当地区のため池が越水の危険に直面し

たからです。災害関連は複数議員が、防災計画や災害後の処置、避難所対応等々に質問を集中しましたが、防災の備えが重要だと痛切に感じました。「信州は山国だから大丈夫、はダメ…市長談」でしたが、まさにその通りです。『想定外は想定内』の時代なのです。我々も行政も再認識する必要があります。小諸市には、ため池が24箇所、内防災重点ため池が16箇所とのことでしたが、時代背景も考慮してよりよい方向に導いて欲しいと思います。某議員が、財政面を多方面から質問しました。「令和2年は厳しい予算から、苦しい予算になる」と総括しましたが、こと防災関連には、双方「言い放し」にならず、PDCAを履行してほしいと思いますし、市民も協調と協力が必要と痛感しながら、緊張感ある議会を傍聴しました。

インターネットSNS利用の功罪について少し考えてみました。昨年11月に大阪で12歳の中学生の女子が行方不明になった事件がありました。その後栃木県内で保護されたことにショックを受けました。又過日の報道でオンラインを利用した「ゲーム障害依存症」がWHO（世界保健機構）で認定され、社会問題と報じられました。ゲームによる悪影響の例として

学業や仕事への悪影響・昼夜逆転の生活・引きこもり・家族への暴力等多くの危うい実態があるという事で驚きました。この実態について同じような悩みを持つご家庭もあるのではないかと思います。世の中はスマホ・SNSは当然の時代で欠かせませんが、少なくとも小諸市の将来の宝と言える子供たちはゲーム依存症にはなって欲しくないと思う今日このごろです。

(憲)